

防災 減災 知恵袋

Vol.57 6月1日～30日は土砂災害防止月間です

青森県内には、約4,000箇所、むつ市内には約270箇所もの土砂災害危険箇所があります。山あいの沢筋に堆積した土砂や巨石が雨で増えた沢水と一緒に流れ出る「土石流」、地下水の上昇により地盤がゆるみ、地盤全体がゆっくりとすべり出す「地すべり」、雨を含んで脆くなった崖が突然崩壊する「がけ崩れ」……どれも強い雨が原因となり、山や崖がある地域ではどこでも起こる可能性があります。

「今まで経験したことのない強い雨が降っている」ときは「今まで経験したことのない災害が起こるかもしれない」と心に留め、日頃から危機意識を持つとともに、ハザードマップなどで避難所及び避難経路を確認するなど、土砂災害による被害ゼロを目指しましょう。

土砂災害の種類			
名称	土石流	地すべり	急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）
概要	集中豪雨や長雨などによって、山腹斜面や渓流の土石や流木が一気に押し流される自然現象	斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によりゆっくりと斜面の下に移動していく自然現象	地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちる自然現象
前兆現象	<ul style="list-style-type: none"> ・地鳴りがする ・沢の水位が急激に減る ・沢の水が異常に濁る ・流木が発生する 	<ul style="list-style-type: none"> ・地鳴りがする ・池や沼の水位が急変する ・井戸水が濁る ・落石や地面のひび割れが発生する 	<ul style="list-style-type: none"> ・地鳴りがする ・がけから小石が落ちてくる ・水が発生する（止まる、濁る） ・斜面がふくらむ
イメージ図			

資料提供 NPO法人土砂災害防止広報センター